

(別紙様式)

平成 28 年度 北極域研究共同推進拠点 共同研究等報告書

申請区分: 萌芽的異分野連携共同研究 共同推進研究
産学官連携フュージビリティ・スタディ
共同研究集会 産学官連携課題設定集会
研究課題名: 糞ゴケを介した北極陸上生態系の生物間相互作用の解明
研究期間: 平成 28 年度

| 共同研究員 | 氏名 | 所属・職名 |
|------------|-------|--------------|
| 研究代表者 | 伊村 智 | 国立極地研究所・教授 |
| 研究分担者(拠点外) | 大石侑香 | 東北大学・研究員 |
| | 山口未花子 | 岐阜大学・研究員 |
| 研究分担者(拠点内) | 立澤史郎 | 北海道大学・助教 |
| | 植竹 淳 | 国立極地研究所・研究員 |
| | 辻 雅晴 | 国立極地研究所・研究員 |
| | 丸尾文乃 | 総合研究大学院大学・学生 |

【研究の内容】

2017年3月29日に、東京都立川市の国立極地研究所において、表記研究集会を開催した。予定していた共同研究員のほとんどの日程調整がつかなかったため、代表者の伊村、分担者の丸尾に加えて、国立科学博物館の樋口正信氏、北海道大学大学院理学研究院の増田隆一氏、西田義憲氏の3名に参加いただいた。「糞ゴケ」をモデルとした北極圏における生物間相互作用について、それぞれの立場からの研究背景とこれからの研究計画について紹介があり、新たな共同研究の方向性について議論が行われた。

研究集会のプログラムは、以下の通りである。

伊村 智 「研究の背景」

樋口正信 「糞ゴケの分類と生態」

丸尾文乃 「糞ゴケと動物をつなぐもの」

増田隆一 「動物の糞 DNA 分析からわかること」

西田義憲 「北ユーラシアに分布するイタチ科食肉類における免疫系遺伝子 MHC の分子進化学的研究」

伊村 智 「北極陸上生態系における生物間相互作用の解明に向けて」

総合討論

なお、研究経費は全額、研究集会の交通費として使用された。

【研究論文や著書等】

無し

【研究発表】

無し

【特許等】

無し

【アウトリーチ、取材、その他】

無し